

# 愛知県警察からのお願い

平成22年中の飲酒運転による交通死亡事故は、22件と全国で最も多く発生しています。飲酒運転は、罰金や免許取消しだけでなく、事故を起こせば命を落とす危険性があり、人生はもちろん家族や同僚に多大な迷惑と悲しみを与える犯罪行為です。

## 飲酒運転の罰則・行政処分

運転者	酒酔い運転	罰則	5年以下の懲役又は100万円以下の罰金	
		行政処分	<b>免許取消し（欠格期間3年）</b>	35点
	酒気帯び運転	罰則	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金	
		行政処分	呼気中アルコール濃度	
0.15mg/l以上0.25mg/l未満			<b>免許停止（90日）</b>	13点
	0.25mg/l以上	<b>免許取消し（欠格期間2年）</b>	25点	
	飲酒検知拒否	罰則	3か月以下の懲役又は50万円以下の罰金	
同乗者	車両の運転者が酒に酔った状態にあることを知りながら、自己の運送の要求・依頼をしてその車両に同乗した場合	罰則	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金	
		行政処分	<b>免許取消しや停止処分の対象</b>	
	車両の運転者が酒気を帯びていることを知りながら、自己の運送の要求・依頼をしてその車両に同乗した場合	罰則	2年以下の懲役又は30万円以下の罰金	
		行政処分	<b>免許取消しや停止処分の対象</b>	
車両の提供者	酒気を帯びている者に車両を提供する	運転者が酒酔い状態	罰則	5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
			行政処分	<b>免許取消しや停止処分の対象</b>
	運転者が酒気帯び状態	罰則	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金	
		行政処分	<b>免許取消しや停止処分の対象</b>	
酒類の提供者	車両を運転するおそれのある者に酒類を提供する	運転者が酒酔い状態	罰則	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
			行政処分	<b>免許取消しや停止処分の対象</b>
	運転者が酒気帯び状態	罰則	2年以下の懲役又は30万円以下の罰金	
		行政処分	<b>免許取消しや停止処分の対象</b>	

\* 行政処分の期間は、最も短い場合をいい、他に違反・事故の行政処分がある場合は、これ以上の期間となります。



ハンドル  
キーパー

飲酒運転は、自分以外に周囲の人にも不幸にします。会社の同僚と飲みに行くときは必ず**ハンドルキーパー**を決めたり、**運転代行**を利用するなど飲酒運転を根絶しましょう！！



飲酒運転の車両への  
**同乗も免許取消しに!!**

飲酒運転で不幸になるのは自分だけじゃない!

**チェック** 同乗罪・酒類提供罪・車両提供罪の行政処分は?

**運転者と同様に免許取消しや停止処分の対象となります**

飲酒運転の車両への

同乗も免許取消しに!!



飲酒運転で不幸になるのは自分だけじゃない!

チェック

同乗罪・酒類提供罪・車両提供罪の  
行政処分は?

運転者と同様に免許取消しや  
停止処分の対象となります